

社員への環境啓発を目的とした環境情報の共有を進めるとともに、地域への環境・社会貢献活動に取り組んでいます。また、事業所周辺地域や自治体との協定締結・連携のもと、生物多様性の保全や地域美化活動など、豊かな自然を守る活動を推進しています。

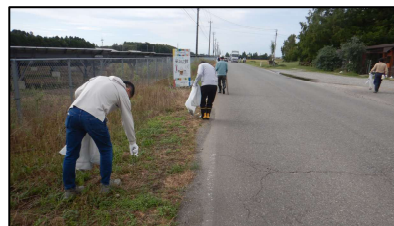
2025年度は事業所周辺での清掃活動や、地域の方々を対象としたイベントの開催や PFU ブルーキャッツ石川かほくによる地域・社会貢献活動に取り組みました。

項	活動内容	実施	実施事業所/地区
1	地域・環境保全等のための寄付	2025年4月,5月,8月,9月,12月	石川地区
2	河北潟清掃活動	2025年6月,10月	石川地区
3	かほく市海浜一斉清掃	2025年7月	石川地区
4	ナンテンの苗木植樹	2025年12月	本社
5	スポーツを通じた地域貢献活動(PFUブルーキャッツ石川かほく)	通年	石川地区
6	社員食堂の地産食材使用	通年	石川地区
7	ペットボトルキャップ回収活動	通年	全国各拠点
8	事業所周辺の清掃活動	通年	全国各拠点

清掃、ボランティア活動

■ 河北潟干拓地のボランティア活動

河北潟干拓地の景観や農業用施設機能の維持を目的とした除草や美化活動などのボランティア活動への参加に関する協定書を、河北潟干拓土地改良区及び河北潟沿岸土地改良区と民間企業第一号として2007年3月に締結しています。協定書に基づき、2025年度は6月、10月に河北潟干拓地の清掃活動に参加しました。



■ かほく市海浜一斉清掃

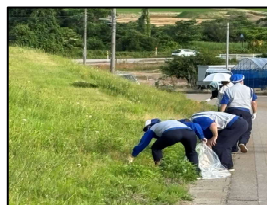
石川地区では、2025年7月にかほく市が主催する海浜一斉清掃に参加しました。波で打ち上げられた漁具、ペットボトルや発泡スチロールなどのプラスチック製品など多くの漂着物を回収しました。



■ 事業所周辺の環境美化活動

石川地区では、6月に本社、ProDeSセンターの通勤路清掃を実施し、通勤路と駐車場周辺に捨てられていたペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻、その他金属/プラスチックごみなどを拾い、地域の美化に貢献しました。

横浜本社では CSR 活動および環境活動の一環として、横浜みなとみらいグランモール清掃活動に参加しました。2025年度は横浜本社周辺道路の美化・清掃を計9回実施しました。PFU IT サービス株式会社では、宮城県、福井県の拠点で事業所周辺の清掃活動に参加しました。引き続き、地域イベントに積極的に参加し、環境活動に貢献していきます。



通勤路清掃
(ProDeSセンター)



グランモール清掃
(横浜本社)

イベント開催

■ PFU ものづくりラボ・キャンプ 2025 開催

2025 年 7 月 26 日（土）に PFU 本社にて「PFU ものづくりラボ・キャンプ 2025」を開催しました。

2007 年から地元かほく市の子供たちを対象に開催しているイベントで、今年で 19 回目となります。

かほく市教育委員会のかほく市生涯学習講座「親子体験コース」と連携し、かほく市内および社員家族を含めた小学 4～6 年生を対象に実施しています。

2025 年度は親子 30 組を募集し、AI を活用したプログラミングに挑戦してゲーム制作を行いました。



■ PFU 未来キッズプロジェクト～いしかわ・宇宙の学校

2010 年から、かほく郡市、金沢市の教職員&社員共同で宇宙と自然科学をテーマに活動しています。

2025 年度は 3 回／年のスクーリングにて約 300 名の参加者が実験・工作に取り組みました。



地域・環境保全等のための寄付

■ 緑の募金寄付、ナンテンの苗木植樹

毎年「緑の募金」に寄付しており、寄付のお礼としていただく苗木を本社敷地内に植樹しています。この緑の募金では、植樹や間伐など国内の森林整備のほか、震災で被災した方々への支援、未来の担い手である子どもたちへの森林環境教育、また海外の緑化支援等にも使われています。



■ PFU クリスマス・チャリティコンサート

1992 年から開催しているコンサートです。2025 年度は金沢歌劇座ホールにて開催し、約 1,130 名のお客様にご来場いただきました。

本コンサートの収益は、石川県を通じて「令和 6 年能登半島地震災害義援金」および「令和 6 年能登豪雨災害義援金」として全額寄附させていただきました。



PFUブルーキャッツ石川かほくの取り組み

■ 小学校でのバレーボール教室の実施

金沢市ホームタウンチーム交流促進事業「令和7年度プロスポーツ出前教室」の一環として、金沢市内の各小学校でバレーボール教室を実施しました。

本事業は、地域に根差し市民から愛されるクラブを目指すホームタウンチームと市民との交流を通じて、地域スポーツの振興や地域の活性化、選手と市民が触れ合う場の創出につなげることを目的としています。

教室当日は、パスやスパイクなどの基礎練習に加え、簡単なゲーム形式の実践も行いました。子どもたちは元気いっぱいに取り組み、「バレーボールが楽しかった」という声も多く聞かれ、スポーツの楽しさを体験してもらう機会となりました。



■ 能登復興活動支援事業「心はひとつ!!能登ソフトバレーボール大会」を開催

金沢市ホームタウンチーム能登復興活動支援事業の一環として、輪島中学校体育館で能登地区を対象とした「心はひとつ!!能登ソフトバレーボール大会」を開催しました。

震災後、運動や交流の機会が減少している中、被災された皆さまへの「モノとこころの支援」を目的に企画し、当日は選手も含め21チーム約120人が参加しました。

参加者からは「久しぶりに身体を動かすことができ、気持ちよかった」「チームで声をかけあうのが楽しかった」といった声が寄せられました。今後も「がんばろう能登 がんばろう石川」のスローガンのもと、復興支援活動を続けます。



■ 内灘町宮坂地区で復興田植え・復興稲刈りを実施（能登半島地震からの復興支援）

内灘町・JA石川かほく・内灘町米生産農家の皆さまのご協力のもと、令和6年能登半島地震からの復興支援の一環として、内灘町宮坂地区の水田で2025年5月に「復興田植え」、8月に「復興稲刈り」を実施しました。

収穫したお米の一部は、2025年11月および2026年2月のホームゲーム会場で来場者の方たちに計4,000個の塩おにぎりを無料で提供し、内灘町の魅力発信にもつなげています。

この取り組みは、2026年5月に開催された「リクルートスタッフィング presents 大同生命 SV.LEAGUE AWARDS 2025-26」において、「Smile 部門最優秀社会連携クラブ賞」を受賞しました。



■ 高松ぶどうの摘房に参加・オリジナルワイン「KAHOKU BLUE」づくりを推進

JA石川かほく・高松ぶどう生産組合のご協力のもと、かほく市の特産「高松ぶどう」の摘房作業に選手が参加しました。摘房で生じるぶどうを活用し、地域資源の有効活用（アップサイクル）につなげる取り組みです。

本活動で集めた摘房ぶどうは、2024年に開発したオリジナルワイン「KAHOKU BLUE」の原料として使用し、2025年は奥能登のワイナリー（輪島市）での醸造により約1,100本を製造しました。完成したワインの収益の一部は、令和6年能登半島地震の復興支援に役立てます。

